

みなさん、おはようございます。

約4カ月、長丁場の2学期でしたが、本日、無事に終業式を迎えることができたこと、大変うれしく思っています。

この2学期、9月の学校祭では、クラスごとに発表や展示を行った文化祭、5つの団編制で競技や応援発表を競った体育祭、どちらも、皆さんの笑顔、その笑顔にたどり着くまでの苦労、込められた思いを感じ取ることができました。本日配られるPTAだよりには、学校祭をリードしたみなさんの思い、来年度への期待の言葉が記されていますので、しっかりと読んでください。今年で50回目となった伝統の提言コンテストは、代表選出方法を少し変え、教育委員会から来賓をお招きして盛大に開催することができました。西高生全員が学校生活や身のまわりのできごと、生き方への提言を行い、自分の考えを文章にすることで新たな気づきが得られたのではないのでしょうか。提言内容も多岐にわたり、第50回記念大会に相応しいものになりました。理数探究科の参加希望生徒が長きにわたり取り組んできた冠島調査については、11月に開催された第58回全国野生生物保護活動発表大会で文部科学大臣賞を受賞しました。この名誉ある表彰には、多くの方々から祝福のコメントをいただき、西舞鶴高校の活動を温かく見守っていただいていることに感謝しております。12月に実施した2年生沖縄研修旅行は、3泊4日の日程の中で、平和学習、マリン体験、研修旅行委員が企画したレクリエーションなど、十分に楽しめたのではないかと思います。新しい人間関係を築き、同級生の新たな一面に触れる行事となりました。他にも多くの行事や学びがありましたが、西高生が行事を楽しみ、躍動する姿をホームページや新聞などで、保護者等、同窓会、地域のみなさまにたくさん紹介することができました。

さて、話は変わりますが、情報が溢れるこの時代に、みなさんは誤った情報に惑わされることのないよう、いろいろな場面で言われていると思います。これに関わり、お話をしたいと思います。就職における採用方法についての話です。採用を公正に実施するため、就職差別につながるようなことをしてはいけないというルールがあります。聞いたことがある人も多いと思います。出身地や家族などに関する「本人に責任のない事項」、宗教や尊敬する人物といった「本来自由であるべき事項」を面接で質問したり、本人の適性や能力に関係のない書類などを提出させたりすることを禁止し、公正な採用を行うためのルールが定められています。このルールは、過去にあった就職活動における差別事象を教訓とし、長い期間をかけて作られたものです。このルールを周知するために、ある地方公共団体が作成した啓発動画があるのですが、6月のテレビ番組で、この動画の内容について、公正な採用選考に向けた取組を否定する、視聴者に誤った認識を与えかねないような内容が全国放送されました。当然、そのような放送は決して許されるものではなく、11月になって正しい内容の番組があらためて放送されています。西舞鶴高校ではみなさんに正しい判断力をつけるための教育を行っています。テレビという公共性の高いものを通じて流される番組の内容は「正しいもの」としてとらえられる可能性が高いものですが、我々大人も含めて、確かな人権意識、人権感覚を持っておくことを大切にすることはもちろんのこと、誤った情報に惑わされることのないようにしなければならぬと感じております。

さて、3年生のみなさんへ。既に希望進路合格を果たしたみなさん、本当におめでとう。卒業までに何ができるか、どんな力を身に付けるか、考えてみてください。これから一般入試に挑戦するみなさん、粘り強く頑張りましょう。まだまだ学力は伸びます。目標に向かって集中力を高め、悔いを残さないよう受験勉強に打ち込んでください。3年冬休みの追い上げで大逆転劇を演じた人はたくさんいます。逆に冬休みの過ごし方によっては、逆転されてしまうのも事実です。

1・2年生のみなさんは、先輩たちの姿をよく見て、先輩からたくさん話を聞き、自分の希望進路の実現に向けて、参考にしてほしいと思います。ライバルよりも先を行くために、誰にでもできることは、早くスタートすることです。

令和6年も残り少なくなってきました。健康に留意し、交通安全を心がけて、来る年を、みんなが新たな決意で迎えられることを願って式辞とします。